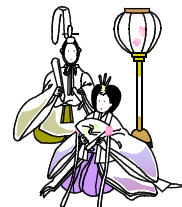




めだか通信197号

桐生市立教育研究所 適応指導教室「あぶろーち」



「あぶろーち」では、この一年予定していた活動の多くが実施でき、日々の生活の中で子どもたちの笑顔にたくさん出会えたことが私たちの喜びでもあります。

今月号は、2月末に行われた「お別れ会」と3月に実施した調理実習「ちらし寿司」についてお知らせします。

【お別れ会】

卒業生と在校生が出席して「お別れ会」が行われました。当日は「あぶろーち」の報告会もあり、終了後保護者や学校関係者の皆様にもお別れ会に参加をしていただき、とても温かな雰囲気の中で行うことができました。お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございました。卒業生の言葉や在校生による司会・進行、プレゼント贈呈など、それぞれに大切な役割があり、緊張している生徒もいましたが、子どもたちが立派に務めを果たしてくれました。会場の準備やプレゼントの作成など、全員の協力があった素晴らしい会になりました。本当にありがとうございました。



【緊張の中にも凜々しさが】



【在校生からのプレゼント】



【卒業生のことば】



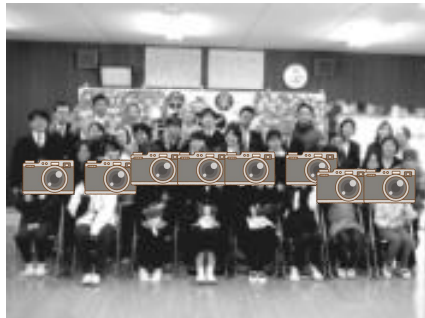
【思いを込めて、それぞれが堂々と発表できました】



【「旅立ちの日に」合唱】



【アーチでお見送り】



【みんないい笑顔です】

卒業
みめでどう

【調理実習～ちらし寿司～】

桃の節句であり、卒業・進級のお祝いも兼ねて、あぶろーちの最後の行事である「ちらし寿司」の調理実習が行われました。

畑で「かき菜」を収穫したり、ご飯を炊いて酢飯を作ったり、錦糸卵を焼いたり、具材を刻み準備したりと、子どもたちは積極的に作業に取り組んでくれました。

春を感じさせるとても豪華なちらし寿司が完成し、お腹いっぱい食べることができました。

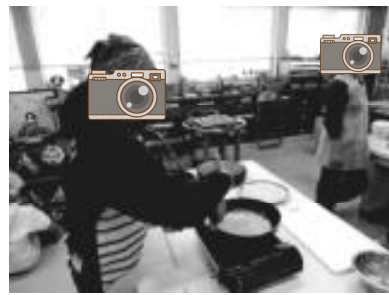
【写真は裏面にあります】



【まずは、かき菜の収穫】



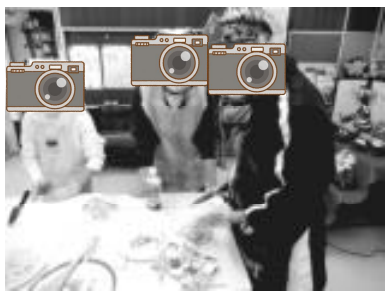
【卵も上手に割れました】



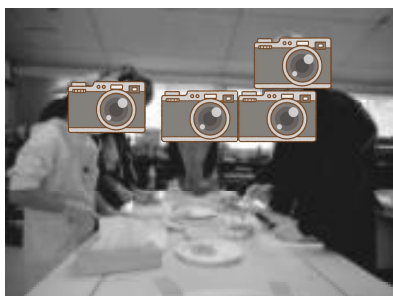
【錦糸卵作りも上手でした】



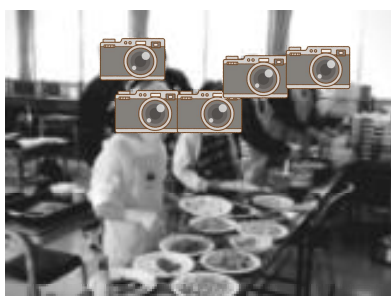
【なかなかの手つきです】



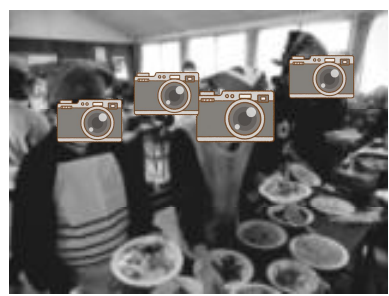
【それぞれの具材を丁寧に切り分けて準備をしました】



【錦糸卵も細く切れました】



【盛り付けはトッピングスタイルで好きな材料をチョイス】



【めだかのつぶやき】

子どもたちの成長を見守りながら過ごした一年も終わりが近づいてきました。この一年で子どもたちがさまざま体験や活動を通して、成長していく姿を見ることができとても嬉しく思います。

子どもたちが不登校になる要因は一人一人違います。人との関わりや集団で生活するのが苦手、繊細すぎて人の視線や発言が気になる、家族関係で悩んでいる、学習が不安、自己肯定感が低く自分に自信が持てないなど本当にさまざま複雑です。

そんな子どもたちが、小さな集団と一緒に活動するなかで成長し、少しずつ自信を持って積極的に行動・発言したりすることができるようになってきました。そしてマスク越しでも硬かった表情が柔らかくなり笑顔も増えていくことがわかりました。学校への復帰にはなかなかつながらない子どもたちもいますが、多くの子どもたちが、以前よりも前向きに生活ができるようになってきていると思います。

4月の新学期に向け、子どもたちも新たな気持ちで一步踏み出そうとしていると思いますので、残りの日々も子どもたちの思いや願いに寄り添いながら支援を進めていきたいと考えています。

最後になりますが、来年度中に「あぶろ一ち」は旧西中跡に移転するという大きな節目を迎えます。新しい施設での生活になることで、期待と共に新たな課題等も出てくると思います。これまで支えていただいた家族の皆様、学校関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。ともに今後とも、子どもたちの健やかな成長にご支援とご協力をお願いいたします。

「めだか通信」も197号をもって最終号となります。一年間ありがとうございました。

2024年3月13日 発行
TEL 43-2602

